



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp



2017年7月22日 vol.51

東海第二原発 再稼働を止めよう!!

8.27



老朽化した原発を 運転延長?

つくばから直線距離にして50kmの東海第二原発は、2018年11月に運転開始40年を迎えます。原発は原則40年で廃炉ですが、所有する日本原子力発電は20年の運転延長申請をしようとしています。

致命的な欠陥

東海第二原発では、使用しているケーブルがすべて可燃性ケーブルです。福島第一原発事故のケーブル火災以降、難燃性ケーブルが再稼働の条件となりました。

しかし、建物の内外に複雑に張り巡らされている総延長1000km以上のケーブルを、難燃性ケーブルに交換す

ることは現実的に不可能です。



住宅地に隣接する東海第二原発

住民の意思は...

茨城大学「地域社会と原子力」調査チームは2016年に茨城県内の原発立地・周辺自治体住民を対象にアンケート調査を行いました。「老朽化した原子炉を使い続けるのは非常に危険であると思うか」という質問に、「そう思う」65.1%、「どちらかといえばそう思う」18.0%で8割以上の住民が危機感を持っています。(地域社会と原子力に関するアンケート調査Ⅶ結果の概要より)

住民の不安を受け、県内の各自治体でも東海第二の運転延長をしないよう求める意見書や請願が次々と採択されています。つくば市では、2665筆の署名を添えて、請願が提出されましたが、残

念ながら「趣旨採択」となり、意見書を出すことはできませんでした。しかし、各自治体住民の関心は高く、このような住民の意思を無視することは許されません。(後日、議員有志で要望書を国・県へ提出しました。)

海村長です。県知事選挙の投票日が8月27日(日)となりました。今のところ、3人の立候補予定者のうち「東海第二原発の再稼働・運転延長申請を認めない」と明言しているのは1人だけです。来たる選挙で、私たちの意思をしっかりと示しましょう。

実際に、再稼働の是非を判断するのは茨城県知事と東

「東海第2原発は再稼働してはならない!!」 鶴田まこみさんと 今後の県政について、意見交換しました!



— 鶴田さんは、どんな茨城県にしたいとお考えですか。

鶴田: すべての命が大切にされ、みんなが安心して暮らせる茨城にしたいと考えています。安心して生み・育て・老いることができるような社会を実現させたいと思います。

— 鶴田さんが現在、主に活動している動物愛護の活動は、どのようなきっかけで始められましたか。

鶴田: 1999年の取手市で起きた児童虐待事件をきっかけに、弱い者へ暴力が向かうこのような事件が、二度と起きない社会にしなくては...と強く思ったのが始まりでした。その後、動物愛護の活動につながり、3.11の時には、福島に残されたペットの保護活動もしました。

— そのような活動を通じて、何か問題と感じている事はありますか。

鶴田: 現状を変えたいと請願活動やパブリックコメントを出しましたが、市民の願いや声は届きにくい。肝心の審議会等の議論も問題の真相には届かず、情報も出てこない。もどかしい事ばかりです。

— 東海第2原発の再稼働については、どう考えますか。

鶴田: 老朽化した東海第2原発の再稼働や20年の運転延長はもってのほかです。再稼働に大きな影響力をもっている知事は、地元住民の声を聞き、賢明な判断が必要だと考えています。

— 市民ネットも同じ思いです。一緒に県政を変えていきましょう!



いのち輝くいばらきの会大集会

鶴田まこみ と変える
いのち輝くいばらきへ

7月30日(日) 14時~
つくば国際会議場 大ホール

主催:いのち輝くいばらきの会

街も心もバリアフリーに!

障害者差別解消法が4年前に制定されましたが、現状は何も変わっていない、という声が届いています。

何が差別にあたるのか、まだ理解が広がっていません。例えば、「視覚障害のある方が盲導犬を理由として入店を拒否された」というのは分かりやすい例ですが、「知的障害のある成人に対して幼児語で話しかけること」が差別になる場合もある、というのと言われてみないとなかなか分からないことも知れません。そこで、以下の取り組みを要望しました。

- ★市民啓発用パンフレットの作成
- ★ヘルプカードの普及促進



視覚障害・肢体不自由・発達障害……障害者手帳を持っている人だけが障害者ではありません。誰でもいずれ高齢になって体力や機能が低下したり、けがや病気で障害のある状態となることもあります。障害がある人にとって暮らしやすい環境を整備することは、すべての人が暮らしやすい環境になる、という思いから以下の提案をしました。

- ★合理的配慮の提供を支援する助成制度の導入（今議会で、この制度の導入を求める請願が、全会一致で採択されました!）

進む子どものスマホ依存

〈小さな子どもの場合〉

「しつけアプリ」や「あやしアプリ」に始まって、知育アプリと称した幼児向けゲーム、並行して音楽やアニメなどもスマホで……とおもちゃ代わりにスマホを与えてしまい、小さな子どもとスマホの距離がどんどん縮まっています。自制心が芽生える前にこの刺激的なおもちゃを覚えてしまうと、小さなうちからスマホ依存になってしまうのでは、と心配です。

そこで、赤ちゃん訪問時や1歳半、3歳児検診時などに以下のような働きかけをするように要望しました。

- ★啓発リーフの配布（「スマホに子守りをさせないで」等）
- ★しつけアプリ、あやしアプリの使用実態調査
- ★メディア依存チェックシートの活用

〈小学生・中学生の場合〉

仙台市教育委員会と東北大学が連携して行った調査では、7年間7万人のデータ分析から、スマホの利用時間が1時間以上になると学習成績が下がる、と報告されています。ラインはさらに深刻な結果でした。つくば市でも実態調査を行うように要望しました。



つくば市議会議員
文教福祉委員会

小森谷さやか

一般質問項目

- ・障害者差別解消法
- ・スマホやゲームが子どもに与える影響
- ・東海第二原発



公園をもっと魅力的な遊び場に!

つくばは公園が多く、魅力の一つですが、一部の公園を除いて、こどもがあまり遊んでいないという現状があります。

市民ネットこども部会でも、これまでの話し合いで、こどもがあまり外で遊んでいないという問題を感じて来ました。

公園で外遊びを可能にするのがプレーパークです。現状では公園で、土を掘ったり、水を流して川を作る、隠れ家を作る、

木にロープをかけてターザンごっこ、たき火などの遊びは、禁止または制限されている遊びです。しかし、公園でプレーパークを実践してい

る横浜市などでは、運営要綱を定めて、こども達はプレーリーダーが見守る中、自分の責任で自由に遊ぶ、「冒険遊び」をすることができます。

6月議会でプレーパークの有用性について質問したところ、門脇教育長から「こどもの心や、体や、頭脳や、社会性の発達にとって無くてはならない遊びをパーフェクトに保証する場所」という答弁がありました。

こどもの心身の健全な発達のために、プレーパークをつくば市でも実施できるように運営要綱の調査・検討を提案しました。



つくば市議会議員
総務委員会

皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・市民参加のまちづくり
- ・発達障害児への支援
- ・待機児童対策
- ・プレーパークの導入



2017年6月議会議決結果

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	統一会派つくば 政清会・民進党の会	つくば市民 政策研究会	公明党	日本 共産党	新 社会党	筑峰 クラブ	創生クラブ はがくれ	山中 八策の会
年金を毎月支給に改めることと支給開始年齢の引き上げは実施しないよう求める請願	不採択	○	× 退席:ヘイズ	○ ×:大久保	×	×	○	○	×	○	
東海第二原子力発電所の運転期間の20年延長を行わないよう求める意見書提出を求める請願	趣旨採択	×	○ ×:ヘイズ	○ ×:木村清	○	×	×	×	○	○	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数28 議長:塩田)		*宇野、北口 皆川、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、大久保 木村修、木村清	*須藤 柳沢 高野進	*小野 浜中 山本	*滝口 橋本 山中	*金子	*鈴木	*高野文	*塩田 (議長)

東海第二原発20年運転延長に反対する意見書をつくば市から国・県へ提出してほしいという請願が、1票差で「趣旨採択」になった。

「趣旨採択」とは「請願の内容は理解できるが、意見書は出さない」。つまり、東海第二原発20年運転延長について反対する意思は分かるが、議会としての意見書は国・県へ出したくないということだ。

趣旨採択

反対なのか?
賛成なのか?

では、趣旨採択に賛成した議員は、東海第二原発運転延長に反対なのか、賛成なのか。一体どちらなのか。

この請願は意見書を出してほしいという請願だ。「趣旨採択」にし、一見請願者に寄り添うとみせて意見書は出さないというのは、最も請願者の願いを踏みにじる行為ではないだろうか。(市民ネットは意見書を出すべきと考え、趣旨採択に反対しました。)

秀峰筑波義務教育学校 開校へ向け、全力で準備を!



つくば市議会議員
市民経済委員会委員長
北口ひとみ

一般質問項目

- ・学園地区市街地振興
- ・水守地区のソーラーシェアリング
- ・秀峰筑波義務教育学校



工事の遅れが問題となっていた秀峰筑波義務教育学校は、来年4月に筑波地区の7つの小学校と2つの中学校が一齐に統合し開校する運びになりました。筑波東中学校区の各小中学校では、今年4月からの開校に向けて準備を進めてきただけに、工期遅れの情報隠しの発覚は、教育行政に対する不信感を招く結果になってしまったのは言うまでもありません。

今議会で、今後の改善について質問しました。教育長からは「私たちが知り得ている情報はたとえ不利な情報であってもすべて公表すること、これからは子どもや市民の都合を最優先して事に当たることを職員に繰り返し言ってきたつもり」と答弁があり、開校へ向けての覚悟が述べられました。

また、京丹後市で統廃合が進められた折の事例が紹介され、9校の統合にあたり保護者・学校はじめ地域も含めた話し合いが2年間で300回以上重ねられた。秀峰筑波の場合、5年間で36回は少ない旨の答弁がありました。

実際に出来上がった校舎を目前にして、この広さで子どもたちに目が行き届くのか? 慣れないバス通学や体調不良になった時の対応やお迎えはどうなるのか? 雨の日や荒天時は? など、様々な心配の声を聞いています。

6月初旬に行われた教育長の講演会では「何としても子供たちの安全を守らなければならない。話し合いなら毎晩でも出かけるつもり」との言葉がありました。

計画の急浮上、急速で強引な展開、出席者限定で非公開だったPTA連絡協議会など、これまでの経験のせい、地域も保護者も「今さら意見を言っても…」とあきらめの声が聞かれます。

しかし、教育長も市長も変わり新体制になり、誰でもPTA連絡協議会に出席できるようになっています。子どもたちには想像できない大きな環境変化です。今一度大人がしっかり予測し、通学のこと、学校生活のことをチェックし、安全で快適な教育環境づくりにむけ準備しましょう!



完成間近の秀峰筑波義務教育学校

水道料金の改定、いよいよ大詰め…

2015年に上下水道審議会で「38%の値上げが必要」との答申が出たが、あまりに高すぎると市民ネットでは審議会資料等の公開を求め、検証してきた。

新市長は「答申を精査し、今年度半ばに結論を出したい」と明言。5月から行政と議会の勉強会を立ち上げ、検討を行った。その中で市民ネットは値上げを抑えるため、改良工事の財源を工夫してほしいと提案。これを受け、行政も新たな料金案を準備中です。

市民の納得が得られる改定案になるよう引き続き働きかけていきます。



着実な実現をめざして提案しました!

1. 指定管理者制度の改善について



つくば市の指定管理者制度の課題は、透明性の確保、施設の設置目的が果たされているか、行政から現場が遠くなり責任の所在が曖昧、という点である。その解決のために、事業報告の毎年度公表や、施設の管理運営をチェックする評価委員会を設置し、事業評価や苦情対応が市民に見えるようにしてはどうか?



今年度から、職員が施設に出向いて労働環境も含めたモニタリングチェックを開始。また指定管理者が更に下請けに委託する際の報告を義務付けた。今後、毎年度の事業報告の公表と、有識者や利用者による外部評価も検討していく。



つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長
宇野 信子

一般質問項目

- ・指定管理者制度の成果と課題、透明性確保の提案
- ・水道事業の経営安定化へ地下水の課題と対策
- ・公共交通の改善

2. 市が地下水利用を管理することについて



水道事業の経営安定化には、適切な料金改定と共に、大口需要者が地下水利用へ移行したために給水収益が減少している現状への対策が必要。地下水採取許可は原則として将来の上水道への切り替えが条件のはずだが、実際には切り替えられていない。許可権限を持っている県へ指導を求めるか、県から市へ許可権限の委譲を求めることへの市長の考えは?



確かに地下水採取が水道事業の経営に与える影響は非常に大きい。独立採算の事業において経営改善のためにあらゆる手段を尽くすべきだと思うので、県にどのような働きかけができるか、事務の委託を受けることができるかも含めて協議していきたい。

3. 住民主体の公共交通を



公共交通の見直しを「市民と対話しながら進める」とのことだが、具体的にはどのように進めるのか。



7月に市内各地区で22回の懇談会を開催し、集まった意見とこれまでの実績を元に、公共交通活性化協議会で改編案を作成する。素案がまとまった段階で再度、説明会を開催して意見を聞く。



公共交通に関しては、行政が市民の意見を聞いて決めるだけでなく、地域住民が主体になる取り組みが全国で広がっている。住民が取り組みやすいよう、アンケートのひな形やチェックシート、協議事項一覧などが作成されている広島市の例を紹介するので、参考にしていきたい。



POST CARD

3 0 5 8 7 9 0

つくば市二の宮 2-1-3
クラブビル 1F

つくば・市民ネットワーク行

郵便切手はいりません



年齢 _____ 歳代

差支えなければご連絡先をご記入ください。
報告などをお送りします。

お名前 _____

〒

ご住所 _____

電話番号 _____



2017年7月22日 Vol.51

市民ネットワークの三原則

1. 議員は原則2期8年で交代
2. 議員報酬は市民の活動費
3. 選挙はカンパとボランティアで

「暮らしやすいまちづくり」を自らの手で

2017年市民ネット政策

- ・市民自治のまちづくり
- ・安心・安全な食と農業の推進
- ・子どもの健やかな成長を支える環境づくり(教育・子育て)
- ・高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせる地域づくり(高齢・障害・人権)
- ・住みやすいまちづくり
- ・環境を守り、循環型社会をつくる
- ・脱原発を実現し、自然エネルギー中心のまちづくりと放射能汚染対策
- ・立憲主義を堅持し、憲法の3原則(基本的人権の尊重、国民主権、平和主義)を守る

つくば・市民ネットワークでは、日々の暮らしの中で気づいたことをテーマとして取り上げ、活動しています。調査や視察、話し合いを重ね、同時に自分たちで実践していきます。
当事者でなければ分からないことを声にして、政策提案につなげていきます。
代理人(議員)が4人になり議会での発言力も増しました。「誰もが暮らしやすいまち」の実現を目指して、活動を充実させていきます。

こんなふうに使っています

政務活動費

市議の政務活動費は1人当たり3万円/月が交付されています。報告書・領収書を市に提出し、残金がある場合は市に返却します。2016年4月～2016年11月の3人分、72万円について報告します。

科目	金額(円)	主な支出の内訳
研究研修費	86,482	<ul style="list-style-type: none"> ・全国市民政治ネットワーク交流集会 参加 ・自治体議員立憲ネットワーク年会費 ・財政学習会 参加
資料作成費	15,988	情報公開コピー代、登記簿複写料、議会図書室コピー機使用料
資料購入費	109,565	新聞代、書籍代
広報費	433,163	つくば・市民ネットワーク議会通信印刷料・新聞折込料
合計	645,198	残金74,802円はつくば市へ返金

議員報酬

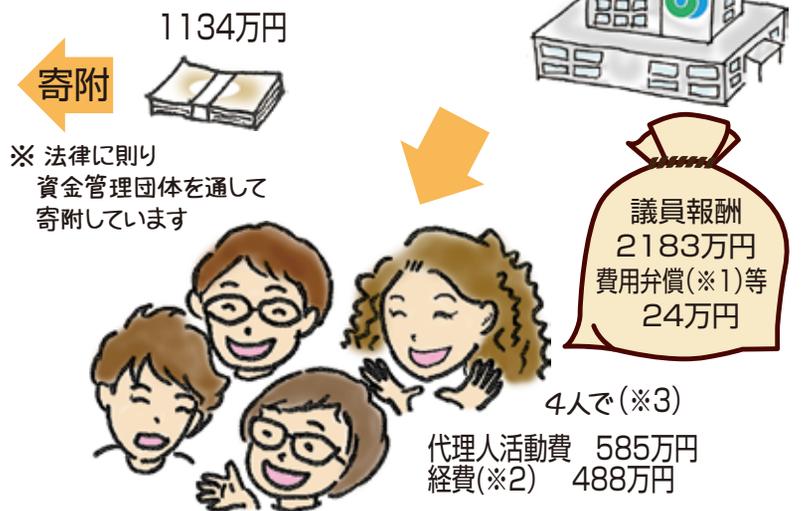
つくば・市民ネットワークの活動費
(2016年1月～12月)

【収入】
前年度繰越 1481万円
会費・寄附など1334万円

【支出】
人件費 374万円
光熱水費 42万円
備品・消耗品費 87万円
事務所費 650万円
総会・行事費 63万円
選挙関係費 115万円
通信等作成費 343万円
調査・研修費等 52万円
その他 2万円

【次年度へ繰越】
1087万円

2016年1月～12月



※1 費用弁償: 議員報酬とは別に議員が議会や委員会に出席するときに、定額支給される旅費・交通費。(つくば市の場合、日額2,000円)
※2 経費: 代理人(議員)の国民年金、国民健康保険、所得税、住民税など。
※3 11月までは3人、12月から4人になりました。

主な活動報告

4/16 署名活動スタート集会 「原発はなぜ危険なのか」小川仙月さん開催	5/31 第2回水道学習会開催
4/23 「東海第二原発の再稼働問題と安全協定を 考える」集会参加	6/1～2 各地区相談センター視察
5/7、6/4、7/2 つくば市民による 財政白書づくりの会参加	6/3 ダンボールコンポスト講習会開催
5/1、11、18、6/1、8 水道勉強会(議会と行政)	6/3、17 交流センター講座 「子どもの貧困って知っていますか」参加
5/13 大豆畑トラストつくば総会	6/12～29 6月定例市議会
5/13 講演会「不登校の心に寄り添い、育ち・学びを 支えるために」小野村哲氏参加	6/18 つくば市母親大会参加
5/24～26 議会運営委員会視察 (奈良、岸和田、八尾)(皆川)	6/18 世田谷羽根木プレーパーク視察
5/27 小川仙月氏講演会 「原発はなぜ危険なのか」協賛	7/11 総務委員会視察(野田市)(皆川)
	7/12～14 文教福祉委員会視察 (富士宮、大津、吹田)(小森谷)
	7/8～ 市地区別懇談会参加
	※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会 等も多数傍聴しています。

東海第二原発運転延長に関するアンケート

- 東海第二原発は、2018年11月に原発の原則運転期間である40年を迎えることを知っていましたか。
知っていた 知らなかった
- 運転期間の20年延長に向けて、申請の準備が進められていることを知っていましたか。
知っていた 知らなかった
- 東海第二原発の再稼働についてどうお考えですか。
賛成
反対
その他()
- 東海第二原発、その他つくば市政についてご自由にご意見をお聞かせください

議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、市民ネットの議員を交え、さまざまな情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

8月2日(水) 13:30～15:30
働く婦人の家(つくば市沼田40-2)
テーマ: 秀峰筑波の開校に向けて

8月7日(月) 13:30～15:30
つくば・市民ネットワーク事務所
テーマ: 6月議会の報告など